

環境保全功労者功績内容等

部 局	氏名・年齢・住所・職業	主 要 経 歴	功 績
企画調整局 (環境研究技術課)	ふじしま ひろみち 藤島 弘道 (64 歳) 長野県長野市西長野盲塚 68 - 8 長野県衛生公害研究所長	飯田保健所長 長野県衛生部長 長野県衛生公害研究所長 全国公害研協議会長	<p>氏は昭和39年に長野県に奉職以来、平成7年までの32年間にわたり公衆衛生行政に携わり、平成4年からは衛生部長として、長野県の行政を支えてきた。平成7年には長野県衛生公害研究所長に就任、さらに県の環境審議会専門委員や(財)長野県廃棄物処理事業団の評議員として環境保全行政の推進に貢献している。</p> <p>また、平成9年度に全国公害研協議会会長に就任し、2年間に亘り地方公害研究所の長期展望の確立や分析施設を含めた体制の確立等に貢献するとともに、全国の地方公害研究所の連携の確保に尽力した。</p> <p>さらに、環境庁においては、国立環境研究所評議員(長官任命)、総合研究推進会議委員(企画調整局長委嘱)等として持てる知識と経験を持って環境行政に貢献していただいている。</p>
地球環境部 (企画課)	財団法人 オイスカ 東京都杉並区和泉3 - 6 - 12 代表 会長 中野 良子	設 立 昭和36年10月 会 員 約9,000名	<p>1980年(昭和55年)それまでの活動に加えて植林活動を開始「苗木一本の国際協力」キャンペーンを展開。同キャンペーンは「アジア太平洋緑化運動」に賛同し、「森林の大切さ、その役割及び植林等の重要性を全世界に啓発するとともに、アジア太平洋地域の青年達が自発的に取り組む緑化運動を支援・協力すること」目的に、植林ボランティアの派遣、植林プロジェクトの支援などの活動を実施。</p> <p>さらに、一般的に「木を植える」習慣がないアジア太平洋地域で、子供達に、森の大切さを知り緑を愛する心を培ってもらうために「子供の森」計画を開始。学校単位で木を植え、自分達の力で森へと育ててもらう運動。1991年にフィリピンの17の学校で始まった同計画は、現在17か国1,822校(98年5月現在)の学校が参加。</p>
環境保健部 (特殊疾病対策室)	むくの かずお 向野 和雄 (60 歳) 神奈川県相模原市上鶴間 7 - 17 - 9 北里大学医療衛生学部教授	九州大学医学部助手 北里大学医学部助教授 熊本県公害被害者認定審査会 ・公害健康被害認定審査会 委員 臨時水俣病認定審査会委員 北里大学医療衛生学部教授	<p>昭和51年11月から現在まで熊本県公害被害者認定審査会・公害健康被害認定審査会委員を勤められ、水俣病対策の推進に多大な貢献をされている。</p> <p>また、国の臨時水俣病認定審査会においても、昭和54年2月から8年間と平成5年6月から現在まで委員として、水俣病認定業務の推進に多大な功績がある。</p> <p>さらに、昭和52年から現在まで環境庁の委託研究である「水俣病に関する調査研究」の研究班員として、神経眼的診断法の確立及びメチル水銀の視覚への影響の解明等の研究に従事するなど、水俣病対策の推進に多大な貢献をされている。</p>

部 局	氏名・年齢・住所・職業	主 要 経 歴	功 績
環境保健部 (特殊疾病対策室)	あきや しのぶ 秋谷 忍 (66歳) 東京都保谷市富士町1-15-14 永寿総合病院眼科顧問	慶應義塾大学医学部助教授 産業医科大学教授 臨時水俣病認定審査会委員 永寿総合病院眼科顧問	<p>国の臨時水俣病認定審査会において、平成3年6月から現在まで委員を勤められ、水俣病認定業務の推進に積極的に貢献されており、その功績は多大なものがある。</p> <p>また、平成3年から平成6年まで環境庁の委託研究である「水俣病に関する調査研究」の研究班員として、水俣病像の解明に尽力された。特に、神経眼科的診断法の確立及びメチル水銀の視覚への影響の解明等の研究に従事するなど、水俣病対策の推進に多大な貢献をされている。</p>
自然保護局 (野生生物課)	まつい しげる 松井 繁 (74歳) 北海道札幌市中央区北六条西 20-1-10 国際湿地保全連合日本委員会会長 日本白鳥の会会長	北海道釧路市太平洋炭坑病院 整形外科医長 松井整形外科医院院長 桑園中央病院院長 日本野鳥の会理事	<p>国際湿地保全連合(WI)は、世界で唯一の水禽並びに湿地生態系の保護を専門に扱う国際環境保護団体である。氏は日本国政府(環境庁)が昭和56年に同連合に加盟することについて尽力した。</p> <p>同連合は、我が国については、環境庁及び専門家各1名、計2名の国家代表を任命しており、氏は60年から国家代表(専門家)に任命され、地球規模での水禽並びに湿地生態系の保護に貢献している。</p> <p>また、我が国は55年に水鳥とその生息地の保全を目的とするラムサール条約に加盟したが、氏は本条約に日本が加盟することについて尽力した。</p> <p>さらに氏は日本白鳥の会の創設に尽力し、日本全国に渡来する白鳥の保護及び調査等を実施し、白鳥の生態解明にも貢献している。</p>
大気保全局 (自動車環境対策第二課)	おおの しんいち 大野 進一 (61歳) 東京都町田市忠生2-15-106 東京都立科学技術大学教授	東京大学生産技術研究所教授 東京都立科学技術大学教授 自動車公害防止技術評価検討会検討員 自動車騒音低減技術評価検討会検討員 中央公害対策審議会騒音振動部会自動車騒音専門委員会委員 中央環境審議会騒音振動部会委員	<p>自動車公害防止技術評価検討会検討員として「自動車公害防止技術に関する報告書」を、自動車騒音低減技術評価検討会検討員として「自動車騒音低減対策技術に関する報告書」を取りまとめるなど、自動車騒音低減技術の開発状況の評価・検討に尽力し、多大な功績を残された。</p> <p>また、中央公害対策審議会騒音振動部会自動車騒音専門委員会委員として「今後の自動車騒音低減対策のあり方について」の答申の取りまとめに尽力されるほか、中央環境審議会騒音振動部会委員、騒音評価手法等専門委員会委員として答申等の取りまとめに尽力するなど、騒音防止行政の推進に積極的に貢献している。</p>

部 局	氏名・年齢・住所・職業	主 要 経 歴	功 績
水質保全局 (地下水・地盤環境室)	たかはし ゆたか 高橋 裕 (72歳) 東京都世田谷区等々力5 - 18 - 7 東京大学名誉教授	東京大学工学部教授 芝浦工業大学教授 中央公害対策審議会専門委員 中央公害対策審議会委員 中央環境審議会委員 同審議会地盤沈下部会長	水文学、河川工学の第一人者として、昭和47年から中央公害対策審議会専門委員、62年から同審議会委員・中央環境審議会委員として地盤沈下対策及び水質汚濁防止等に尽力している。 特に、平成元年度からは地盤沈下部会長をつとめられ、近年顕著化してきている湧水時における地盤沈下対策について新たな提案をしているほか、平成11年4月には水質部会との合同審議により「環境保全上健全な水循環に関する基本施策及び施策の展開」についてとりまとめ、環境庁長官に対する意見具申を行うなど環境保全行政に多大の貢献をしている。
水質保全局 (水質管理課)	むらおか こうじ 村岡 浩爾 (62歳) 大阪府吹田市山田丘2 - 1 大阪大学大学院教授	国立環境研究所水質土壌環境部長 大阪大学教授 中央公害対策審議会専門委員 中央公害対策審議会委員 中央環境審議会委員 同水質部会長	環境水利学、河川工学の第一人者として、昭和63年から中央公害対策審議会専門委員、平成元年から同審議会委員・中央環境審議会委員として、水環境の解明やその改善等水環境行政の推進に尽力している。 特に、平成8年からは水質部会長をつとめられ、平成11年2月には「水質汚濁に係る人の健康の保護に関する環境基準の項目の追加等」についてとりまとめを行うとともに、平成11年4月には地盤沈下部会との合同審議により「環境保全上健全な水循環に関する基本施策及び施策の展開」についてとりまとめ、環境庁長官に対する意見具申を行うなど環境保全行政に多大の貢献をしている。